

絵画私論5「挿絵考」 ～バラッドのイラスト制作（1）～

Mutual Relationship between Illustrations and Language through Ballad Poetry – Part 1 –

陣内 敦

I はじめに

前絵画私論4において、マザー・グース専門教科書（文献1）の挿絵制作をおこないながら、絵画と言語の繋がりと広がりについて考察する機会を得た。続いて、このマザー・グース専門教科書編注者の一人であった中島久代氏が主宰する日本バラッド協会の依頼により、伝承バラッド（注1）306篇の挿絵を制作することになった。

II 制作方法

「全訳チャイルド（注2）・バラッド」全3巻（文献2）に収められた作品を基に筆者が下絵を作画し、同書の監修者である山中光義氏ならびに中島久代氏と作品の背景や時代の考証をおこない、修正課題の検討を行った後、水彩紙（アルシュ紙）に黒インクとペンでドローイングをおこなっていった。

III 作品（1）

「全訳チャイルド・バラッド第1巻」に収められている102篇から創作した108点の作品を次に紹介する。本作品は、「日本バラッド協会」（URL1）と「やまなかみつよしのバラッドトーク」（URL2）に載せている。挿絵作品のタイトルの前の番号は上記翻訳書の巻と作品番号を、後ろの（ ）内は原典の编者チャイルドが分類した作品番号と版を示す。なお、「同第2巻」「同第3巻」の挿絵作品は、本紀要にて絵画私論6および7として紹介する。



I・1 謎解き (001C)



I・2 妖精の騎士 (002A)



I・3 ギル・プレントン (005A)



I・4 ダグラス家の悲劇 (007B)



I・5 二人の姉妹_1 (010C)



I・5 二人の姉妹_2 (010C)



I・6 残酷な兄 (011G)



I・7 ロード・ランドル_1 (012A)



I・7 ロード・ランドル_2 (012A)



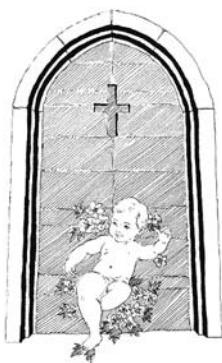
I・8 エドワード (013B)



I・9 バビロン (014A)



I・10 鞘付きナイフ (016A)



I・11 残酷な母 (020B)



I・12 聖スティーブンとヘロデ王 (022-)



I・13 麗しのアニー (024A)



I・14 三羽のカラス _1 (026-)



I・14 三羽のカラス _2 (026-)



I・15 二羽のからす (026hn)



I・16 アリスン・グロス (035-)



I・17 うたびとトマス (037A)



I・18 クラーク・コルヴィル (042B)



I・19 二人の魔法使い (044-)



I・20 美しい雌鹿 (050-)



I・21 青ざめたりズィ (051A)



I・22 ブラウン・ロビン告白 (057-)



I・23 サー・パトリック・スペンス (058A)



I・24 アニー (062A)



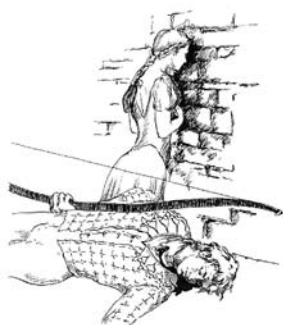
I・25 メイズリー (065A)



I・26 ヤング・ハンティング (068A)



I・27 クラーク・サンダーズ (069A)



I・28 ウィリーと貴婦人メイズリー (070A)



I・29 荒野で (071-)



I・30 アウゼンフォードの二人の息子 (072A)



I・31 ロード・トマスと色白のアネット _1 (073A)



I・31 ロード・トマスと色白のアネット _2 (073A)



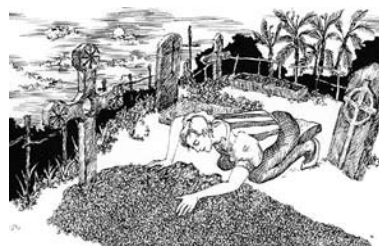
I・32 マーガレットとウィリアム (074B)



I・33 ロッホ・ロイヤルの娘 (076A)



I・34 ウィリアムの亡霊 (077B)



I・35 眠れぬ墓 (078A)



I・36 アッシャーズ・ウェルの女 (079A) I・37 ポルトガルの老人ロビン (080-)



I・38 リトル・マスグレイブとバーナード夫人 (081A)



I・39 きれいな小鳥 (082-)



I・40 チャイルド・モーリス (083A)



I・41 バーバラ・アラン (084A)



I・42 ラムキン (093A)



I・43 若者ウォーターズ (094-)



I・44 イズリントンの役人の娘 (105-)



I・45 小姓になった姫 (106-)



I・46 トム・ポッツ (109C)



I・47 騎士と羊飼いの娘 (110A)



I・48 カラスとカササギ (111-)



I・49 くじかれた騎士 (112B)



I・50 スール・スケリー島の大アザラシ (113-)



I・51 ジョニー・コック_1 (114F)



I・51 ジョニー・コック_2 (114F)



I・52 ロビンとガンデリン (115-)



I・53 アダム・ベル、クラフのクリムとクラウデズリーのウィリアム (116-)



I・54 ロビン・フッドとギズボーンのガイ (118-)



I・55 サー・ヒューとユダヤ人の娘 (155A)



I・56 エレオノール女王の告白 (156A)



I・57 英雄ウォレス (157A)



I・58 ヒュー・スペンサーの手柄 (158-)



I・59 ダラムの戦場（159-）



I・60 リズデイルの騎士（160-）



I・61 オッタバーンの戦い（161C）



I・62 チェヴィオットの鹿狩り_1
（162B）



I・62 チェヴィオットの鹿狩り_2
（162B）



I・63 ヘンリー五世のフランス征服
（164）



I・64 ジョニー・アームストロング
（169C）



I・65 メアリ・ハミルトン（173G）



I・66 ルークホープの逆襲（179-）



I・67 ホビー・ノーブル（189-）



I・68 ドデットのジャミー・テルファー
（190-）



I・69 ヒュー・グレイム（191C）



I・70 ロッホメイベンの豎琴弾き (192A)



I・71 パーシィ・リードの死 (193B)



I・72 ウォリスタンの領主 (194C)



I・73 マクスウェル卿最後の別れ (195A)



I・74 フレンドロートの火事 (196A)



I・75 美しいメアリーの城 (199A)



I・76 ジプシーの若者 (200A)



I・77 ベッシー・ベルと
メアリ・グレイ (201-)



I・78 ブラックレイの男爵 (203A)



I・79 ラウドン・ヒル (205-)



I・80 ジョーディ (209A)



I・81 ヤロー川の土手 (214A)



I・82 母の呪い (216C)



I・83 カウデンノウズのエニシダ (217G)



I・84 かわいいリズィ・ペイリー (227-)



I・85 魔性の恋人 (243F)



I・86 二人の騎士 (268-)



I・87 王女ダイヤモンド (269A)



I・88 マー伯爵の娘 (270-)



I・89 サフォークの不思議なできごと (272-)



I・90 エドワード四世と
タムワースの皮なめし工 (273-)



I・91 間抜けな亭主 (274A)



I・92 さあ立って戸口を閉めて (275A)



I・93 井戸に落ちた修道士 (276A)



I・94 羊の皮にくるまれた女房 (277A)



I・95 農夫の悪妻 (278A)



I・96 陽気な乞食 (279B)



I・97 乞食の若者 (280C)



I・98 魚籠の中の大捕物 (281A)



I・99 利口な農夫 (283)



I・100 ジョン・ドーリー (284)



I・101 ジョージ・アロー号と
スウィープステイク号 (285)



I・102 スウィート・トリニティー号
(286A)

(参考文献)

- 1 宮原牧子・中島久代・伊藤真紀・三木菜緒美・木田裕美子編注、陣内敦イラスト『マザー・グース英詩の世界』英光社、2014年。
- 2 バラッド研究会編訳、藪下卓郎・山中光義・中島久代監修『全訳チャイルド・バラッド』全3巻 音羽書房鶴見書店、2005年-2006年

(注)

- 1 「バラッド」とは中世以来ヨーロッパ各地で吟遊詩人や民衆によってつくられ、口承伝承として世代から世代へとつぎつぎと継がれてきた物語歌をさす。語源はラテン語で舞踏を意味する「バラレー」である。神々の系譜や民族英雄の事蹟をうたう叙事詩になぞらえ、民衆の叙事詩ともよばれる。15世紀後半の印刷術の発明によって純粋な口承物語歌とは異なる「ブロードサイドバラッド」が生まれ、16世紀から18世紀に

大流行した。大判紙ブロード・シートにニュースや事件を題材とした歌が印刷され、路上でうたわれ売られた。口承のバラッドがブロードサイドとして売られたり、逆にブロードサイドが口承化したりと両者の交流は錯綜しており、通常は両方まとめて「伝承バラッド」とよぶ。（『イギリス文化事典』 イギリス文化事典編集委員会、丸善出版、2014年、第13章「バラッド-現代に継承される文化遺産」[中島久代執筆]より）

- 2 チャイルド（Francis James Child）は1825～96年を生きた人であり、詩集『英蘇バラッド集』（The English and Scottish Popular Ballads）を編むのにハーヴァード大学教授としての約40年をかけた。（『全訳チャイルド・バラッド第1巻』 バラッド研究会編訳、藪下卓郎・山中光義監修、音羽書房鶴見書店、2005年、「チャイルドの世界～まえがきに代えて」[藪下卓郎執筆]より）

（URL）

- 1 「日本バラッド協会」 <http://j-ballad.com/>
- 2 「魅惑の物語世界 やまなかみつよしのバラッドトーク」 <http://www.balladtalk.com/>